

## 日本医学会分科会活動報告

特定非営利活動法人日本心臓血管外科学会

理事長 横山 斉

### ● 「日本心臓血管外科協議会」から「日本心臓血管外科学会」へ：本学会の成立

日本の心臓血管外科は1950年代にその一歩を踏み出した。開胸が重大な外科手技であった1948年に総合学会（心臓、肺、食道）として日本胸部外科学会が発足していたが、心臓血管外科領域の専門学会の必要性が認識されていた。1962年に日本心臓血管外科協議会（会長：木本誠二）を設立し、当初は日本外科学会や日本胸部外科学会総会時のサテライトミーティングとして活発な議論がなされた。会員の増加に伴い、1972年に会則を定め「日本心臓血管外科協議会 第1回研究会」（後に「第1回日本心臓血管外科学会学術総会」と位置付けられる）を、東京（会長：三枝正裕）で開催した。1975年に名称を「日本心臓血管外科学会」と改め、以下の目的を掲げた：「本会は心臓血管外科に関する研究の進歩及び普及をはかるため、会員の研究発表・討議・知識の交換を行い、あわせて国際心臓血管外科学会（The International Cardiovascular Society：ICVS）ならびに内外の関係学術諸団体との連絡、提携をはかることを目的とする」。当時はICVS日本支部としての国際的位置付けも強く意識していた。会員資格は、心臓血管外科研究に関心を持つ医師を「一般会員」とし、さらにその中で心臓血管外科経験10年以上かつICVS会員を「国際会員」とし評議員資格者とした。同時に「日本心臓血管外科学会雑誌」の発行を開始した。

### ● 理事長制の導入：リーダーシップの継続性

1978年に成立した医療法上の標榜科名には、「胸部外科」が入らず、「心臓血管外科」と「呼吸器外科」が認められた。当時の日本医師会会長であった武見太郎氏が「胸部外科ではわかりにくい」との認識であった。1980年に、会務の継続性を重視し理事長制を導入し、初代理事長に三枝正裕が就任した。理事長制は外科系学会では初めてで、本会が外科系学会の中でリーダーシップを発揮することに役立った（第2代：浅野猷一、第3代：古瀬 彰、第4代：北村総一郎、第5代：高本眞一、第6代：上田裕一、第7代：横山 斉）。学会設立11年後の1983年に日本医学会に第81分科会として認められた。1993年にICVSが発展的に解消し、ICVSアジア支部を母体としてアジア心臓胸部血管外科学会（ASCVTS）が設立され、第1回学術集会が日本で開催された。本会の国際会員資格はICVSからASCVTSに引き継がれASCVTS会員の七割を占める。以後、ASCVTSはアジアの心臓血管外科学のリーダー的学会として現在まで活動している。

### ● 特定非営利活動法人への移行：心臓血管外科専門医制度確立に向けて

2002年に日本胸部外科学会および日本血管外科学会と合同で、「3学会構成心臓血管外科専門医認定機構」が発足し、心臓血管外科専門医制度が始まった。

専門医制度の広告解禁条件の一つとして「認定学会が法人格を有すること」が求められ、本会は「特定非営利法人・日本心臓血管外科学会」として登記した。2003年に本会の支援のもと日本心臓血管外科手術データベース機構(JCVSD)が設立された。JCVSDは、2011年に発足したNCD(National Clinical Database)の原型となった。この頃より本会の社会的活動が活発となり、ライブ手術ガイドライン作成委員会、医療事故調査委員会、施設集約検討特別委員会など常設委員会が年々増加していった。

- 学会理念策定：多岐にわたる社会貢献

委員会数も増加し本学会の存在意義と組織のあり方も再定義が必要となった。2012年に改めて学会理念を策定し、同時に委員会が整理・再編された。理念2012「日本心臓血管外科学会は、人類愛と高い倫理性そして国際的視野を持ち、心臓血管外科領域における質の高い医療による人々の健康と福祉の増進を目指し、患者とともに歩みます。」に基づき、5つのミッション(質の高い医療、研究推進、国民の啓発、次世代外科医育成、社会活動)ごとに委員会が整理された。現在の活動は、専門医制度、データベース(JCVSD)に基づく医療の質改善、医療安全、U-40(若手医師の会)活動、診療ガイドライン、保険診療など多岐にわたる。

- 本学会運営の特徴：バランスと適材適所

本学会は地域性を重視している。評議員は、全国7地区の国際会員を候補として理事会の投票と討議で選出される。理事は、地区の定員に沿って、小児心臓外科、成人心臓外科、血管外科という3本柱のバランスに配慮して理事会で選出される。理事選挙をしない欧米型の学会運営であり、各理事には適材適所で多忙な会務を担っていただいている。全国選挙で理事や大会長が決定される方式の学会とは対極にある。大会長は、会長推薦委員会で適任者を理事会に推薦する。総会開催地は日本列島各地域に及び、全国の心臓血管外科の活性化に貢献している。今後も日本とアジアにおける心臓血管外科のリーダーとして貢献してゆく所存である。